

平筑応援 同期会貸し切り号

田川高OBら復旧初日の27日

県立田川高校(香春町)の卒業生らが、通学でお世話になった平成筑豊鉄道旧国鉄線を応援したいと同期会で貸し切り車両を走らせる。母校の最寄り駅は西日本豪雨で不通となっていた区間。復旧初日の27日、「同期会列車 岳陽浪漫号」は懐かしい顔を車窓に並べて駅を発つ。

企画したのは、1965(昭和40)年度に田川高校を卒業した18回生の事務局のメンバーたち。現在70、71歳だ。27日には同窓会の全体総会が母校であり、終了後に開く18回生の同期会に趣向を凝らしたい、と考

えを巡らせていた。元)年に第三セクター化された伊田線、糸田線、田川線による平筑鉄道の厳しい状況を気にかけていた。「地域にとっても在校生にとっても大事なふるさとで後押しし、支援の輪を広げるきっかけにしよう」と呼びかけ、事務局メンバーの賛同を得た。「岳陽浪漫号」は、同窓会名の「岳陽同窓会」にちなんだ。27日夕、田川伊田駅を出発。田川線の勾金駅で同窓会総会に出席した18回生を乗せ、油須原駅で折り返

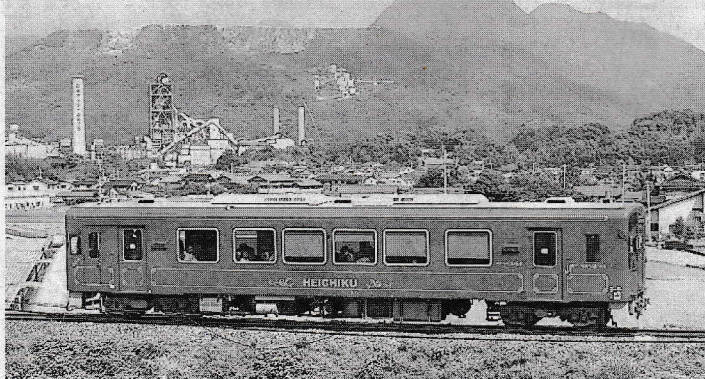
通学の恩「乗ることで後押し」

す。この区間は西日本豪雨で線路が被災し、代行バスを運行中だが、復旧工事が進み、この日から鉄道運行が再開される。折り返し後は金田駅を経て直方駅まで行き、田川伊田駅へ戻る。3時間余の旅だ。遠方から久しぶりに帰郷する人も含め33人が乗車予定。岳陽同窓会オリジナル日本酒「水平線上の突起」で乾杯し、フランス料理に舌鼓を打ちながら、あの頃に戻り、校歌や応援歌を歌い、スピーチに抽選会もある。途中で「席替え」もする。

事務局メンバーの岩井英夫さん(田川市)は、田川後藤寺駅から勾金駅まで列車通学だった。「毎朝、飯をかき込んで、走って、発車間際の列車に飛び乗って」。いい思い出です。地元住民としても鉄道にはなにか頑張っしてほしい。奥せつ子さん(香春町)は「まず同期生に『乗ってよかった』と言ってもらえる会にしたい。同窓会の各世代の恒例行事になれば」。原田忠さん(田川市)も「自分たちも楽しみながら成功させ、他の高校の同窓会へも平筑鉄道の利用が広まれば」と願っている。



「岳陽浪漫号」の打ち合わせをする田川高校18回生のメンバー＝田川市



同窓会名にちなんで「岳陽浪漫号」と銘打って走る予定の車両＝平成筑豊鉄道提供

(中村幸基)